

千葉県友好使節団の結団式が行われました！



2013. 9. 28 (土)

ワールドビジネスガーデンにて撮影

千葉ウiskonシン協会では、今秋ウiskonシン州へ派遣する友好使節団の結団式を9月28日に行いました。会場となった千葉県国際交流センターの会議室には和服姿で訪れた団員も多く、結団式は華やかな雰囲気になりました。

今回の派遣は、10月12日(土)から19日(土)までの8日間で、文化・芸術グループ12名、保健・医療グループ3名、科学・技術グループ3名の計18名の団員に協会の運営委員3名が同行します。

結団式では、まず、CWAを代表して高柳哲男常務理事が、「平成2年5月のウiskonシン州との姉妹提携以来、相互派遣により交流を深めてきたが、東日本大震災等で派遣が中止された年もあった。今回の派遣は、千葉ウiskonシン協会が主体となって交流を担うようになってから4回目の派遣である。使節団には当協会の運営委員が同行するので、訪問中は遠慮なく相談して欲しい。8日間という短い期間であるが、団員の皆様がウiskonシン州を実際に肌で感じ、ウiskonシン州の方々との交流を通して、更に深い・永いお付き合いができるようにしていただけることを期待している。」と挨拶を述べた後、団員決定書の交付が行われました。



挨拶する高柳常務理事



団員決定書を受け取る団員



事務局によるレクチャー



笑顔でご挨拶する古在団長



緊張気味の団員たち

次ページに続く↓

次に挨拶に立った団長の古在豊樹氏（千葉大学名誉教授、元千葉大学学長）は、「今回3つのグループに分かれて行動することになるが、一つのご縁である。私は踊りもできないので、文化・芸術グループの方々に教えてもらいたいし、できるだけ他グループとも交流し、理解を深めたいと思っている。訪問中は怪我をしないよう、体調を崩さないようにするのはもちろんだが、失敗の一つや二つを楽しむぐらいの気持ちがあってもいい。特に若い団員の皆さんは非常に感性が強いので、沢山刺激を受けると思う。ホストファミリーや訪問先では心を開き、素直な気持ちで交流して欲しい。また、帰国したら、今回の経験を自分だけでなく家族や友達にも分け与えていただきたい。お互いに助け合って、ウィスコンシン州に行ったら良かったなと思えるようにしましょう。」と若い団員へのエールも込め、決意を語られました。

一人ひとりの自己紹介があり、集合写真の撮影では団員の緊張も解けたてきたようです。



一人ひとり自己紹介



同行する協会メンバー3人



国際課の石川課長が激励の挨拶

出発日の12日、成田は素晴らしい秋晴れとなりました。空港でチェックインを済ませた団員一行は期待に胸を膨らませ、元気にウィスコンシン州へ飛び立っていきました。